

「精神科準開放病棟における離院の要因の実態調査」に関するご協力をお願い

私達、杏林大学医学部附属精神神経科 2-3A 看護師は、皆様の安全な療養生活について 関心を持っております。精神科に勤務する私達は様々な状況にありながら心身の苦悩を抱えておられる患者様の看護に取り組んでおり、入院中の看護ケアや治療をまとめ、その経過を検討し今後行われる研究発表会で発表させていただきたいと思っています。

今回、2013 年 4 月～2015 年 3 月 31 日までの入院期間における苦痛への看護、安全対策について、看護記録・診療情報を用いて下記の調査を実施いたしますのでご協力をお願いいたします。この調査を実施することによる患者様への新たな負担は一切ありません。また、患者様のプライバシー保護に関しては最善を尽くします。本研究への協力を望まれない受診者様は、下記連絡先までお願いいたします。

1. 対象となる方

2013 年 4 月から 2015 年 3 月の間に当院に入院されていた、研究目的である当該事例に当てはまる方を対象と致します。通常の入院の方は対象ではありません。

2. 目的、方法

本研究は、入院中における心身の苦悩、苦痛などにどのような背景があるのかという実態を調査するために行われます。後ろ向き調査として、2013 年 4 月から 2015 年 3 月の間に当該事例に当てはまる患者様に対し、患者・管理・ソフトウェア、ハードウェア、環境、同僚、看護師のカテゴリーからその背景を調査していきます。

3. ご協力をお願いする内容

この研究は 2013 年 4 月から 2015 年 3 月の間に入院中の当該事例に当てはまる患者様の看護記録、診療録を用いて行われます。新たにアンケート調査などの検査をお願いすることはございません。

4. 個人情報などの取り扱いについて 学会発表時には、患者様のお名前をはじめとする情報が患者様を特定するような内容は一切公表致しません。診療録に記載された内容の一部は発表に含ませていただきますが、病棟看護師、並びに医師全員は患者様の情報を今回の発表に使用させていただいているということは口外致しません。看護師、あるいは医師という職業上の倫理規定を厳守し、一切の情報漏えいがないことをお約束致します。

5. 本研究の実施期間 倫理審査委員会承認後～2020 年 3 月 31 日（入力および分析期間）

6. お問い合わせ 質問などのご依頼は、下記までご連絡ください。

実施責任者 松本由美

研究代表者 杉山尚子

住所：東京都三鷹市新川 6-20-2 電話：0422-47-5511（代表）